

会社説明会資料

2017年7月29日

 日本ビューホテル株式会社

(証券コード: 6097)

1	事業の概要	2
2	ホテルマーケットの魅力・成長性	8
3	日本ビューホテルの強み・特徴	11
4	今後の経営ビジョン	17
5	株主還元	35

1 事業の概要

2 ホテルマーケットの魅力・成長性

3 日本ビューホテルの強み・特徴

4 今後の経営ビジョン

5 株主還元

会社名	日本ビューホテル株式会社
所在地	東京都台東区西浅草3-17-1
設立	1953年5月4日
代表者	代表取締役社長 遠藤 由明
資本金	2,769百万円 (2017年4月30日現在)
決算期	4月30日
市場	東京証券取引所市場第一部
従業員数	連結 900名、単体 731名 (2017年4月30日現在、嘱託・パート・アルバイトを除く)

大株主 (持株比率)	ビューリック株式会社	26.6%
	株式会社立飛ホールディングス	5.9%
	名古屋鉄道株式会社	5.0%
	日本ビューホテルグループ社員持株会	2.6%
	日本駐車場開発株式会社	2.3%
(2017年4月30日現在) 持株比率は発行済株式総数より自己株式数(181,200株)を控除して計算しています。		

連結業績・資産	2016年4月期	2017年4月期
売上高	19,721百万円	20,179百万円
営業利益	1,327百万円	1,362百万円
総資産	24,162百万円	23,135百万円
純資産	14,543百万円	12,575百万円



創業
那須の開発

- 1953年
那須観光株式会社設立
- 1960年
那須ビューホテル開業
- 1964年
那須興業(株)設立
- 1965年
りんどう湖ファミリー 牧場
(現 那須りんどう湖 LAKE
VIEW) 営業開始



事業の拡大

- 1966年
日本ビューホテル(株)に商号
変更
- 1968年
伊良湖ビューホテル開業
- 1974年
成田ビューホテル開業
- 1977年
ホテルビューパレス開業
日本ビューホテル事業(株)
設立
- 1983年
高崎ビューホテル開業
- 1984年
秋田ビューホテル開業
- 1985年
浅草ビューホテル開業

経営の再建

- 2001年
民事再生手続を申立
- 2005年
民事再生手続終結決定
- 2007年
エムシーピースリー投資事
業有限責任組合による出資
- 2012年3月
再生債務を期限前完済



新たな成長へ

- 2012年 5月
浅草ビューホテルレストラン
「武藏」オープン
- 2014年 7月
東京証券取引所
市場第二部上場
清流の宿 おくたま路開業
- 2015年 7月
東京証券取引所
市場第一 部指定
- 2015年10月
ヒューリック(株)との
資本・業務提携契約締結
- 2015年11月
両国ビューホテル開業
- 2016年7月
那須の恵み Mekke ! 開業
- 2017年5月
札幌ビューホテル
大通公園 開業

浅草ビューホテルを旗艦ホテルとするホテル事業を中核に、宿泊・観光事業グループを形成

ホテル事業

直営によるVIEW HOTELブランドを展開するグループの中核事業

- コンセプトは、「ホスピタリティ」、「地域密着」、「ビュー(景色・ロケーション)」、「進化と変化」
- 「VIEW HOTEL」ブランドの直営ホテルを経営
- 浅草ビューホテルが旗艦ホテルとしてグループ業績を牽引
- 観光立国政策を追い風に、スカイツリーや日本文化に溢れる観光資源が優位性を拡大
- シティホテルとリゾートホテルを有し、宿泊、料飲、宴会・婚礼の各部門を営業。スパや温泉などで施設を充実



施設運営事業

低い事業リスクで宿泊施設をチェーン展開

- 「VIEW HOTEL」ブランド以外のホテルや旅館の経営の他、ホテルや旅館、保養所の運営業務受託、運営指導や「VIEW HOTEL」ブランドによるFC契約
- 投資リスクを抑えたチェーン展開



遊園地事業

認知度の高い那須りんどう湖 LAKE VIEW

- 栃木県那須高原にレジャー施設那須りんどう湖 LAKE VIEW
- 広大な自然と那須高原唯一の湖を有し、動物、乗物、アトラクション、レストランや多彩なイベントを運営
- 那須高原を代表するレジャー施設として高い認知度



国内に19ホテル(提携含む)を運営

ホテル事業



施設運営事業

※下記の他、旅館1施設、保養所1施設の運営業務を受託



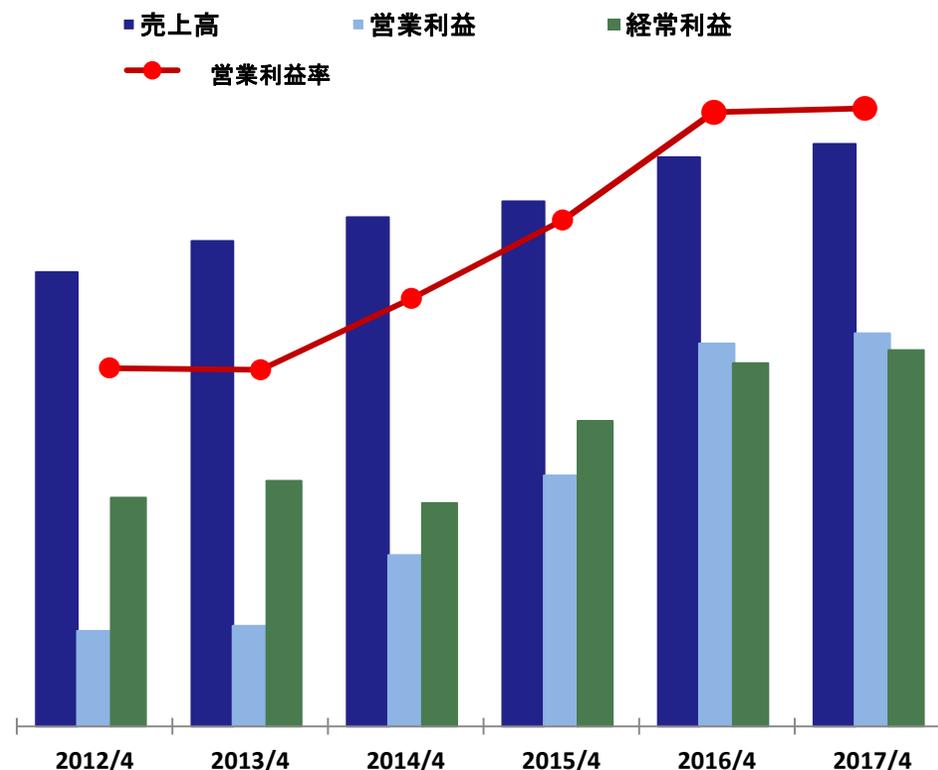
2017年4月期 連結損益実績

単位: 百万円	2016年4月期	2017年4月期	増減額	増減率
売上高	19,721	20,179	458	2.3%
ホテル事業	16,592	17,116	523	3.2%
施設運営事業	1,919	1,773	△ 145	-7.6%
遊園地事業	1,306	1,379	73	5.6%
調整額	△ 97	△ 90	7	—
営業利益	1,327	1,362	35	2.7%
ホテル事業	1,183	1,361	178	15.1%
施設運営事業	20	22	2	10.1%
遊園地事業	114	△ 32	△ 146	—
調整額	8	10	1	-21.1%
減価償却前営業利益	2,422	2,495	73	3.0%
ホテル事業	2,188	2,365	177	8.1%
施設運営事業	48	46	△ 2	-5.1%
遊園地事業	176	73	△ 103	-58.4%
調整額	8	10	1	-21.1%
経常利益	1,258	1,304	46	3.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	706	△ 1,554	△ 2,261	—
1株当たり当期純利益 (円 銭)	73.11	△ 160.83	—	—

- 連結で増収、増益(営業利益・経常利益)
- ホテル事業が連結業績を牽引
- 施設運営事業は減収、遊園地事業は減益
- 高崎ビューホテルと秋田ビューホテルに係る減損を計上、当期純利益は△1,554百万円

連結損益実績の推移

単位: 百万円	2012年4月期	2013年4月期	2014年4月期	2015年4月期	2016年4月期	2017年4月期
売上高	15,742	16,820	17,645	18,188	19,721	20,179
営業利益	331	348	593	869	1,327	1,362
経常利益	792	851	774	1,058	1,258	1,304
営業利益率	2.1%	2.1%	3.4%	4.8%	6.7%	6.8%



1 事業の概要

2 **ホテルマーケットの魅力・成長性**

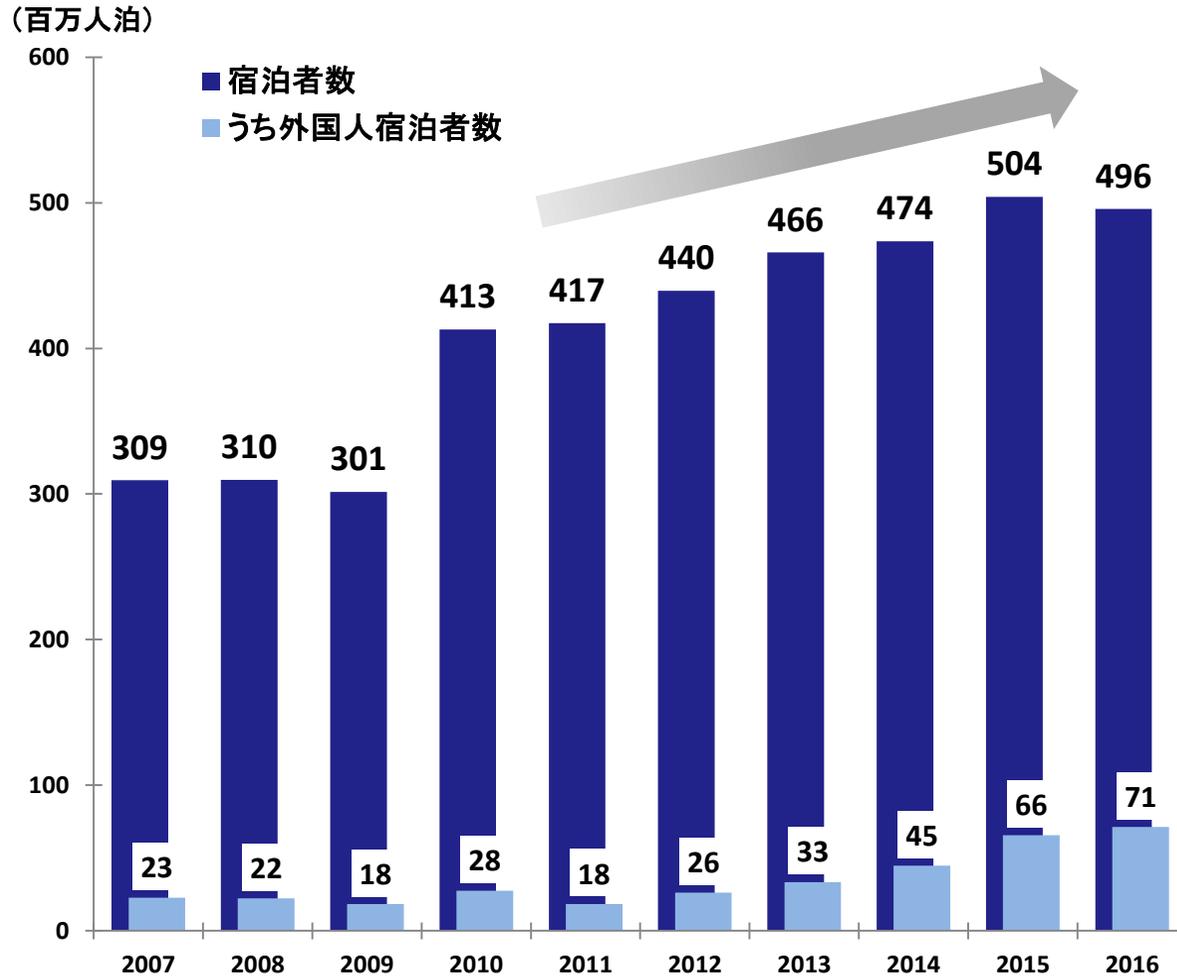
3 日本ビューホテルの強み・特徴

4 今後の経営ビジョン

5 株主還元

国内宿泊マーケットは拡大基調を継続

年別延べ宿泊者数の推移



出所：観光庁『宿泊旅行統計調査』より作成、2016年は速報値
2007年から2009年は従業者数10人以上の宿泊施設、2010年以降はすべての宿泊施設の延べ宿泊者数

- 国内宿泊マーケットは東日本震災の影響により一時伸び悩んだものの、拡大基調を継続
- 国民のレジャー・余暇生活への重点意識は高い水準で推移 ※1
- 訪日外国人旅行者数の増加も需要の拡大に寄与
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催やカジノ構想など、今後のマーケット拡大も期待

※1 参考：内閣府官房長官広報室「国民生活に関する世論調査」

日本政府による観光産業へのバックアップ

- 政府のビジット・ジャパン・キャンペーンにより、訪日外国人旅行者は増加、今後も政府による観光立国に向けた積極的な取り組みが期待される
- 2016年訪日外国人は2,400万人を突破、過去最高を更新。政府は2030年の新目標として従来の3,000万人から6,000万人へと倍増を決めた

政府による観光産業のバックアップ(主な施策)

2003年
2007年
2012年 3月
2013年 6月
2014年 6月
2015年 11月
2016年 3月

ビジット・ジャパン・キャンペーン開始
観光立国推進基本法施行(観光庁)
観光立国推進基本計画

国内における旅行消費額 2016年まで30兆円
訪日外国人旅行者数 2016年まで1,800万人
国際会議の開催件数 2016年まで5割以上増、アジア最大の開催国

日本再興戦略にて観光にかかる目標値設定

訪日外国人旅行者数 2013年に1,000万人、2030年に3,000万人超
旅行消費額 2030年に4.7兆円

観光立国実現に向けたアクション・プログラム

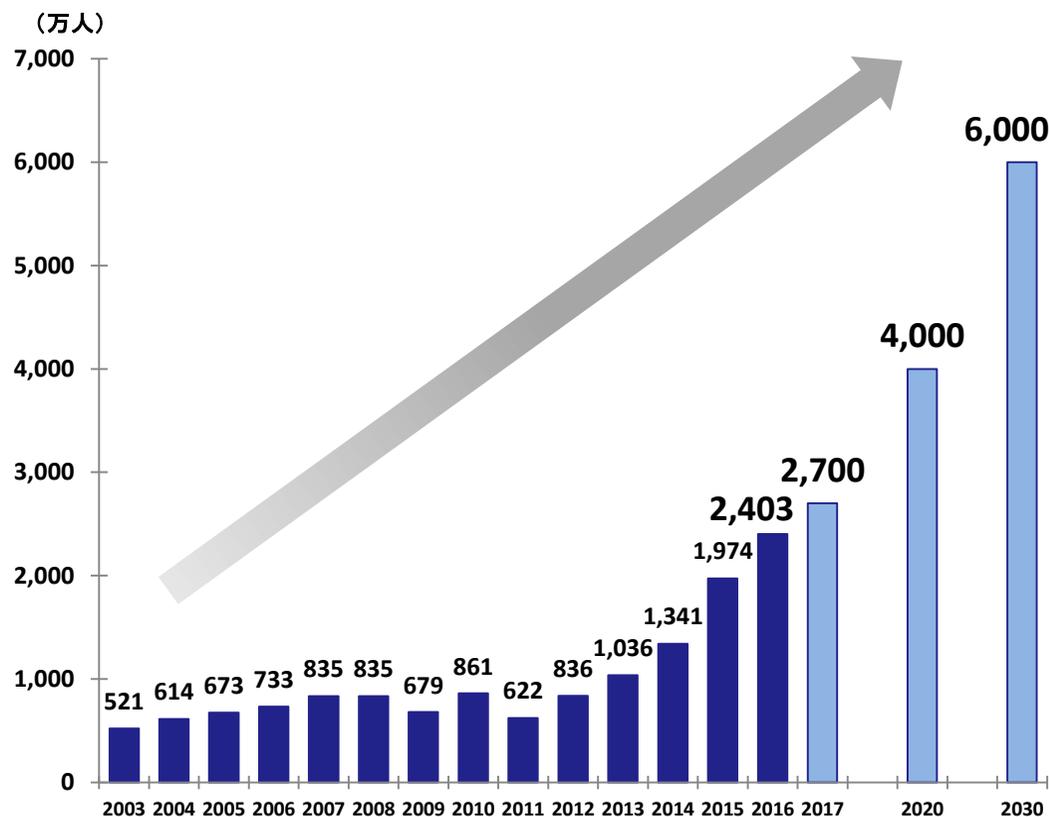
1. 日本ブランドの作り上げと発信
2. ビザ要件の緩和等による訪日旅行の促進
3. 外国人旅行者の受入の改善
4. 国際会議等(MICE)の誘致や投資の促進

「観光立国実現に向けたアクションプログラム」を改定

「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」を設置

訪日外国人旅行客数の目標を「2020年に4,000万人、2030年に6,000万人」に上方修正

訪日外国人旅行者数実績・目標



出所:観光庁『訪日外国人消費動向調査』、『観光立国推進基本計画』より作成
2016年は日本政府観光局(JNTO)推計値、2017年はJTB見通し

1 事業の概要

2 ホテルマーケットの魅力・成長性

3 **日本ビューホテルの強み・特徴**

4 今後の経営ビジョン

5 株主還元

浅草エリアの高い集客力

- 訪日外国人が、観光・レジャー目的で最も多く訪問しているのは東京都
- 東京都の中でも、浅草は訪問先、宿泊先、満足した場所において、非常に高い評価を受けている
- 今後、訪日外国人が増加する中で、浅草についてもさらに訪問人数、宿泊者等が増加する可能性が高い

訪日外国人訪問先

順位	都道府県	訪問率
1	東京都	52.1%
2	千葉県	44.4%
3	大阪府	36.3%
4	京都府	24.4%
5	神奈川県	11.3%
6	愛知県	9.8%
7	福岡県	9.5%
8	北海道	8.1%
9	兵庫県	6.5%
10	山梨県	6.3%

出所：観光庁『訪日外国人消費動向調査』より作成

訪日外国人アンケート

訪問先			満足した場所		
順位	都市	割合	順位	都市	割合
1	新宿・大久保	55.4%	1	銀座	12.2%
2	銀座	50.0%	2	浅草	10.7%
3	浅草	49.2%	3	新宿・大久保	10.3%

出所：東京都産業労働局観光部企画課『国別外国人旅行者行動特性調査』より作成



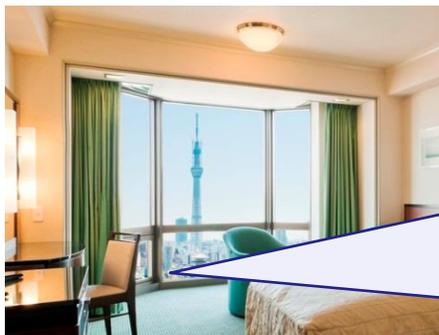
多彩な観光資源に恵まれる浅草ビューホテル

ホテル周辺の主な観光スポット



主な年間イベント

1月	2月	3月	4月
初詣	節分	金竜の舞	墨田公園桜まつり
5月	6月	7月	8月
三社祭	お富士さんの植木市	ほおずき市 隅田川花火大会	浅草サンパカーニバル
9月	10月	11月	12月
浅草燈籠会	浅草菊花展	時代祭り 酉の市	除夜の鐘



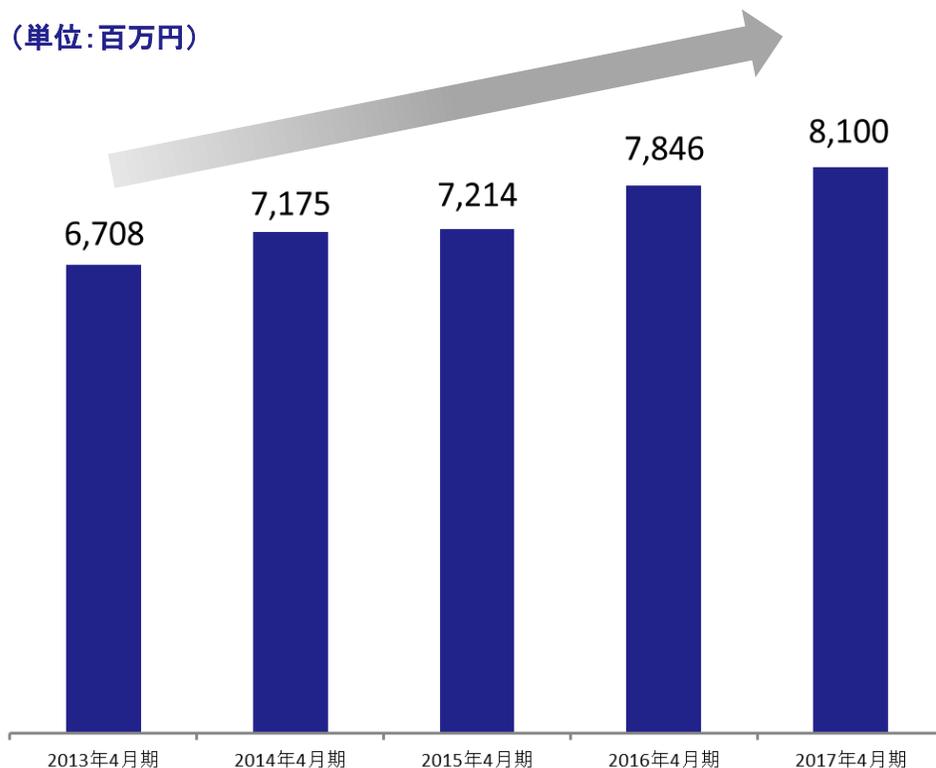
足元である客室の出窓からは、浅草寺や花やしきなど浅草の街並みからスカイツリーの全景までを一望にする

隅田川花火大会の日には、開閉可能な小窓から入る花火の音が臨場感を一層高める

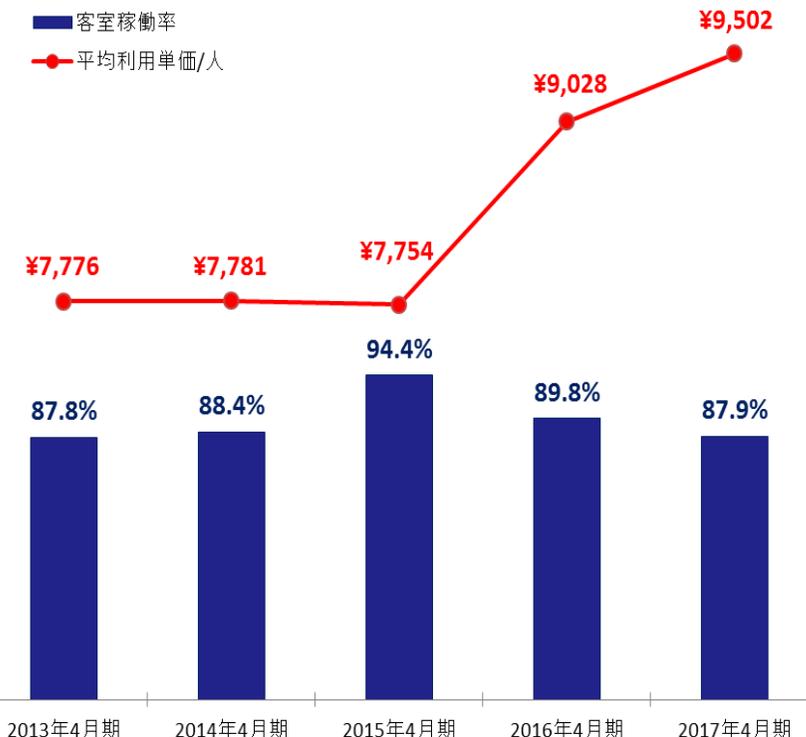


浅草ビューホテル売上高の推移

(単位:百万円)

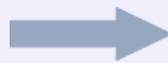


浅草ビューホテル 客室稼働率・利用単価



- 2017年/4月期は前事業年度から客室、宴会・婚礼、レストラン他、全ての部門で増収
 - 客室はレベニューマネジメントの精度向上により高い稼働率と販売単価の上昇を継続
 - ADRは2014/4期15,843円から2017/4期20,557円に上昇
 - インバウンド宿泊人員比率は2014/4期1.6%から2017/4期14.6%に上昇
- ※ADR: 販売した客室1室あたりの販売単価

- 2017年4月期末時点で、資産合計231.3億円、現預金32.2億円、有利子負債67.2億円、純資産125.7億円
- 自己資本比率は50%超を維持
- 有利子負債/純資産倍率は0.5倍、有利子負債/償却前営業利益倍率は2.7倍



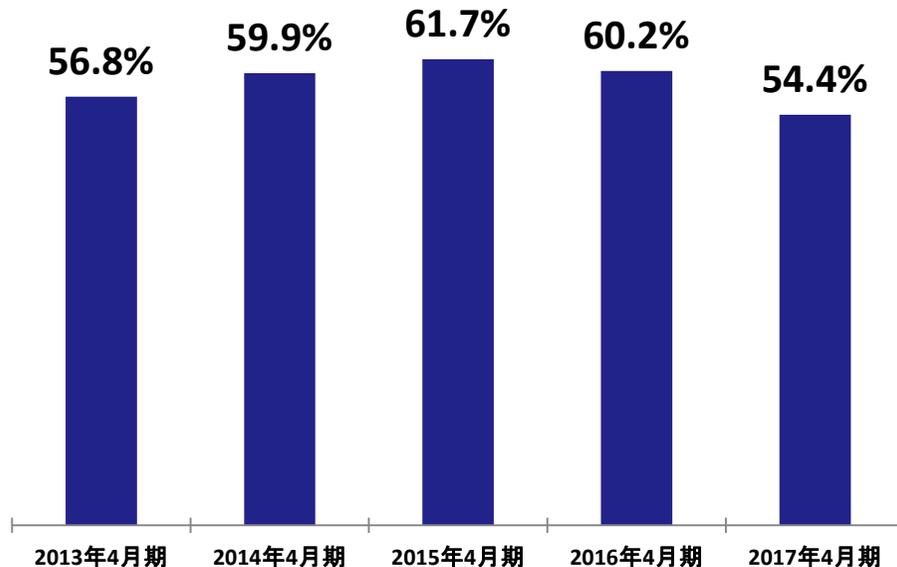
財務基盤については高い安全性を継続

有利子負債と純資産の推移

単位: 百万円	2013年 4月期	2014年 4月期	2015年 4月期	2016年 4月期	2017年 4月期
有利子負債(割賦含む)	6,519	5,939	5,684	5,580	6,728
純 資 産	12,645	13,148	14,118	14,543	12,575

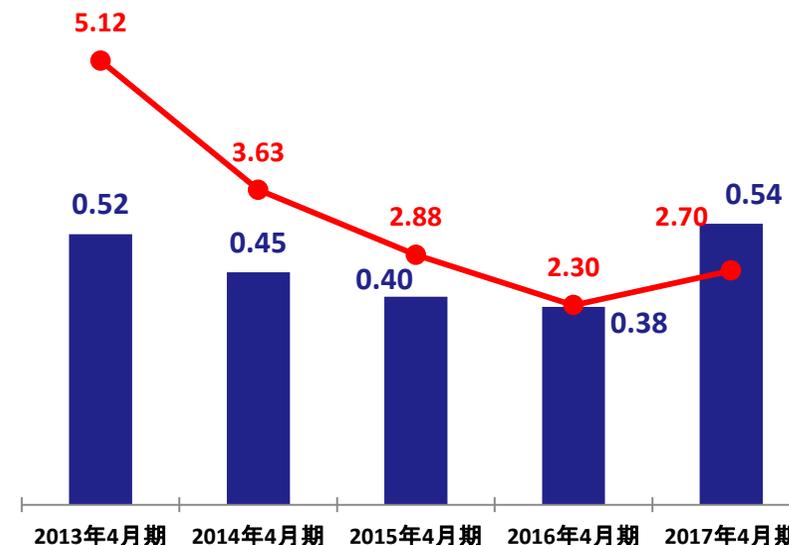
財務指標

■ 自己資本比率



■ 有利子負債/純資産倍率

● 有利子負債/償却前営業利益倍率



ビューホテルとは・・・事業展開のバックボーン

形式にとらわれず温かみと親しみのあるサービス

立地条件や市場に即した営業戦略による利益創出



多様な販売チャネルを駆使した多様な顧客層からの集客力



“食のVIEW”、“味のVIEW”へのこだわり

1 事業の概要

2 ホテルマーケットの魅力・成長性

3 日本ビューホテルの強み・特徴

4 今後の経営ビジョン

5 株主還元

ホテル業界を取り巻く環境・動向

- 訪日外国人は2016年に2,400万人を突破
政府目標は東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年までに4,000万人、2030年(平成42年)までに6,000万人、今後も増加の期待
都心を中心に新規ホテルの開業予定があるものの、供給不足状態が継続
- 国民のレジャー・余暇生活への重点意識は高く、宿泊マーケットは拡大基調を継続
- 国内総人口の減少、シニア層比率の拡大、都市部への人口集中

取り組むべき課題

- 2020年に向けて更に厳しくなる首都圏での競争環境への対応
- アジアを中心とする訪日外国人マーケットの拡大への対応
- 高齢化の進展や社会構造の変化による消費行動の変化・多様化への対応
- 労働市場の変化への対応

VIEW HOTELS Mission

- Sustainable Growth -

第2次中期経営計画の位置付け

当社グループのミッションを達成するため、下記のコンセプトに基づき、長期持続的な成長を目指していく上でのこれからの4ヶ年の基本戦略を示す経営計画

ビューホテルグループ ミッション

私たちは、
 地域や関わる人々とのつながりを
 大切にしながら、
 料理へのこだわりと
 親しみのあるあたたかいサービスによって
 心地よいホテルライフを提供し、
 社会に必要とされる
 ホテルグループを目指します。

ビューホテルグループのコンセプト

ホスピタリティ あたたかい“おもてなし”

- 『こだわりの料理』と『親しみのある、あたたかいサービス』による“おもてなし”を提供。
- 「マインドの育成」を中心とした教育研修を実施し、モチベーションの高い社員によるサービス提供の土台を醸成。

地域密着 地域を愛し、地域に愛されるホテル

- 各地域において高いブランド力・知名度を有し、多くのリピーターからの支持を獲得。
- 地域限定プランの提供や地域貢献活動等、地域社会と積極的に交流を深め、高い信頼関係を構築。

ビュー 景色・ロケーション

- 浅草ビューホテル・伊良湖ビューホテルを代表として、施設からの景色をサービスの一つとして位置付け。
- 観光資源や観光・ビジネスの拠点としての立地を重視した展開。

進化と変化 マーケットや社会への対応

- マーケット、顧客ニーズ、時代や社会に即した経営。施設・サービス・商品の進化と変化。

第2次中期経営計画の骨子

1. 更なる安心・安全の追求

- 大型機械・設備の計画的更新
- 成田ビューホテル → 西館、東館の耐震補強工事

2. 各事業所の現状・市場・将来性の再検討

- 高崎ビューホテル → 営業終了を決定
- 秋田ビューホテル → 資産価値の見直し
- 浅草ビューホテル → ロビーフロア改装

3. 大都市圏に賃借での展開

- 両国、札幌、大阪の開業、および今後の新規事業展開

4. 株主還元

- 安定配当と自己株取得

長期的な視野に立った設備投資戦略の方針

安心・安全への取組み

資産価値の維持・向上

収益性・投資効率の向上

- エンジニアリングレポート(ER)に基づく設備投資(防火・防災・防犯・衛生)
- 戦略的な施設の改装
- 将来的な成長性に鑑みた拠点編成

設備投資計画の概要とEBITDAの計画

	投資予定額(単位:億円)					主な項目
	2018/4	2019/4	2020/4	2021/4	合計	
ER対応	18	16	7	9	51	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成田ビューホテル 西館・東館 新耐震基準対応 ■ 浅草・成田 エレベーター、受変電設備更新 など
戦略投資	25	6	10	8	50	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浅草ビューホテル ロビーフロア改装 ■ 成田ビューホテル 客室改装 ■ 札幌ビューホテル大通公園 客室増室、レストラン改装 ■ 大阪ビューホテル本町開業 など
IT・一般等	6	5	2	2	16	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全社PC交換 ■ 厨房設備更新 など
合計	50	28	20	20	117	
EBITDA	23	30	32	37	123	

浅草ビューホテルの改装

旗艦ホテルを更に魅力的な空間に

日本情緒をテーマとしたロビーフロアの改装

■ フロントロビー

ホテルの顔であるロビーフロアを改装し、日本情緒を現代的に表現したハイクラスな空間を演出

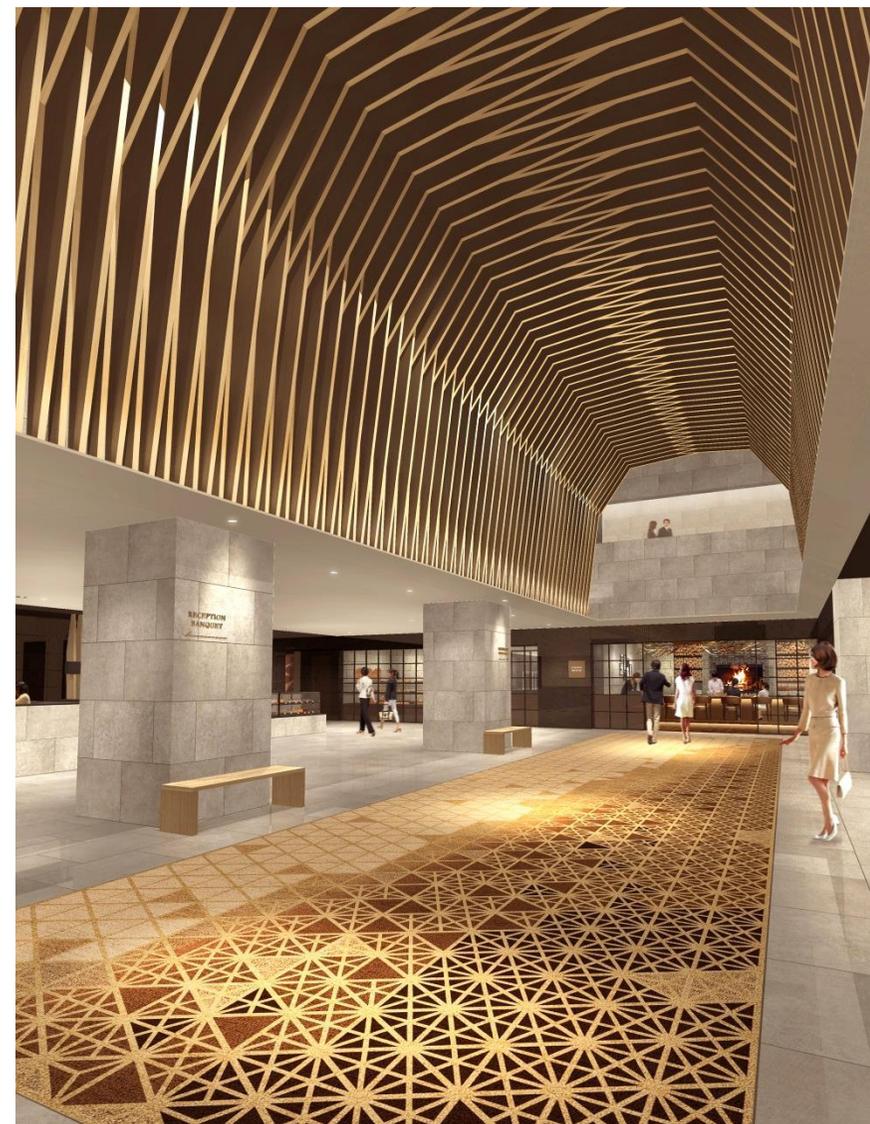
■ レストラン・ラウンジ&バー

「和」と「洋」の自然な共存をテーマに、スタイリッシュな大人の空間に改装し、バラエティ豊かな料理やドリンクを提供

■ デリカ

拡大する中食需要に対応、「デリカ」を拡充。ホテルメイドのお惣菜、パン、スイーツなどを多彩なラインナップで販売

ブランドイメージを高め、宿泊・料飲の売上を増進



グローバルな「和」を表現したスタイリッシュなファーストロビー(イメージ)



本物の浅草を体感できるセカンドロビー(イメージ)

コンセプト～ **都市型観光ホテル**

- 1st Tier : 東京、大阪、札幌、名古屋、京都、福岡
- 2nd Tier : 横浜、神戸、金沢、広島
- リゾート : 箱根など

出店エリア～

ターゲット(観光>ビジネス)

個人～団体、日本人～外国人まで幅広い観光客の取り込み

- 日本人観光客
- 訪日外国人観光客
- 各種団体・修学旅行
- ビジネス客



施設・部屋

日本人には癒しを、外国人には和を感じさせるモダンジャパニーズ

- 150室以上/1施設、平均20㎡以上
- ツインルーム主体、トリプルフォースも設置
- 大浴場や庭園など、癒しと寛ぎの施設・空間

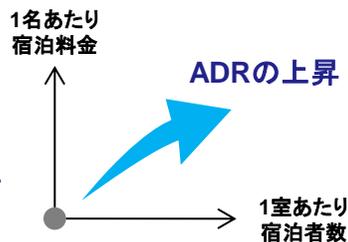


多面的に他ホテルとの差別化を図る

販売戦略

1室あたり宿泊者数を意識したレベニューマネジメント

- 本社営業部による団体獲得
 - リアルエージェントとのネットワーク・販売力
 - 自社サイト、OTAによるWEB集客
- 個人・団体×リアル・WEBの最適コントロール



サービス・クオリティ

“食のVIEW” & あたたかい“おもてなし”

- ハイクオリティな多彩で充実した朝食
- 五感で楽しみ、思い出に残る食事
- 立地等に合わせランチ、ディナーを営業
- 温かみと親しみのある心地良いサービス



国内をメインに年1～2店舗のペースで新規ホテル・旅館を開業し事業を拡大
直営ホテル・旅館数を現在の12施設から2027年4月期までに20施設へ

「札幌ビューホテル大通公園」の開業 <2017年5月3日オープン>

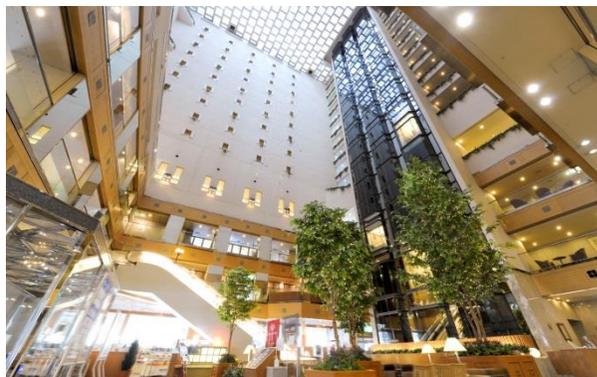
- 札幌市大通公園に隣接したリゾート型シティホテル
- 中心繁華街「すすきの」に徒歩5分、JR札幌駅に車で5分
- 1Fロビーから14Fまで開放感のある吹き抜けアトリウム
- 北の大地初進出となるビューホテルズ19番目のホテル

改装・営業のコンセプト

- 客室を61室増室
- ブッフェレストランを新設し、レストラン・バーを5ヶ所から2ヶ所に集約
- 婚礼部門の営業を終了



客室



吹き抜けのアトリウムロビー



宴会場



既存施設の概要

- 所在地 : 〒060-0042 札幌市中央区大通西8丁目
- 交通 : JR札幌駅より車で5分
地下鉄南北線大通駅より徒歩5分
- 建物 : 地上14階、地下3階
- 客室数 : 285室(5階～14階) 収容人員514名
シングル72室、ダブル10室、ツイン191室、他12室
- 付帯施設 : レストラン(1施設)、宴会場(8会場)、
駐車場(62台)

2017年6月末現在の施設の状況を記載しています。改装等により変更になる予定です。

札幌ビューホテル大通公園 リニューアル内容

客室増室

2階～4階のレストラン・宴会場エリアを客室に改修

- 高まる宿泊需要に対応するため客室を61室増室。
より自然なマテリアルをいっつつ、北海道らしいアートを選定し、機能的なデザインに設えた客室を予定しております。

2017年秋 完成予定



新しい客室のイメージ

buffetレストラン新設

1階アトリウムロビーにbuffetレストランを新設

- 明るくて陽気な南イタリアのマーケットをイメージした店内。
浅草や秋田、伊良湖などのビューホテルズで採用されている富士の溶岩石を使用した「武蔵窯」を設置し、お肉やお魚、お野菜等をふっくらジューシーに仕上げます。臨場感あふれるオープンキッチンではシェフが目の前で腕を振るい、出来たてが楽しめます。

2017年9月2日 オープン予定



新しいbuffetレストランのイメージ



お料理イメージ

「大阪ビューホテル本町」の開業 <2018年春オープン予定>

- 大阪府中央区本町に客室170室の宿泊特化型ホテル
- 御堂筋線・中央線・四つ橋線の各「本町」駅より徒歩2～4分の好立地に位置し、「心齋橋」駅へ1駅2分、「なんば」駅へ2駅4分
- 大阪を代表するビジネス街で、大阪観光の名所が多数点在する「心齋橋」、「なんば」にも近く、ビジネスだけでなく、国内外のお客様の観光拠点としても利便性に富む
- 和のコンセプトで「景観」を生かした上層階客室やモダンな和風庭園
- 「食のVIEW」をコンセプトにした地域密着型の直営レストラン

施設の概要

所在地 : 〒541-0053 大阪府中央区本町四丁目5番2号

交通 : 地下鉄御堂筋線、中央線、四つ橋線 各線本町駅より徒歩2～4分

建物 : 地上19階、地下1階

客室数 : 170室(2階～19階) 収容人員380名
 シングル16室、ダブル16室、ツイン122室、和室8室、和洋室8室

付帯施設 : レストラン(1施設)、駐車場、他



ヒューリック㈱との資本・業務提携によるホテル出店機会の増加期待、経営課題の解決



ヒューリック㈱との業務提携の項目

- 1 両社の取引先及び関係先のネットワークを活用した、ホテル、旅館等の宿泊施設の運営に関する知識・経験を通じた、浅草エリア等における営業協力
- 2 国内外の新規開発プロジェクトに関する情報共有
- 3 当該情報に基づく新規開発プロジェクトへの参画
- 4 ヒューリックから当社への施設の建替、改修工事等に関するアドバイス
- 5 当社が保有する遊休不動産の有効活用のための協働した開発事業
- 6 人材交流

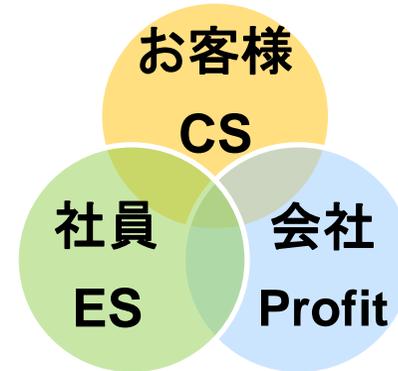
お客様に感動と喜びを提供するために

「ビューホテルらしさ」の追求

ブランド価値の向上・企業価値の拡大

- ・お客様に喜んでいただける商品とサービスで社会に貢献する
- ・働く人全員が幸せな会社になる
- ・高収益を上げ、ステークホルダーの期待に応える

社会に必要とされるホテルグループ



ビューホテルブランド

有形価値

客室、宴会場、レストラン、
WEBページ、ポスター
パンフレット、制服、ロゴ 等

無形価値

人的サービス等

ビューホテル品質

ビューホテルグループで働く一人ひとりが
生み出す「商品」と「サービス」の品質向上
を目指す

これからは「無形価値」の向上が、
強いホテルグループ作りには必須

教育

評価

採用

“ビューホテルらしさ”の追求(企業理念の浸透)＝「ブランド価値経営」

「ビューホテルらしさ」を推進力に
企業価値の更なる拡大を目指します

- ・当社のありたい姿
- ・新たな企業理念
(ミッション)
- ・スタイル(行動指針)



『企業価値』の
更なる拡大へ

- 消費者ニーズへの対応
- 労働市場への対応
- 新たな企業理念に基づく戦略



変えるもの

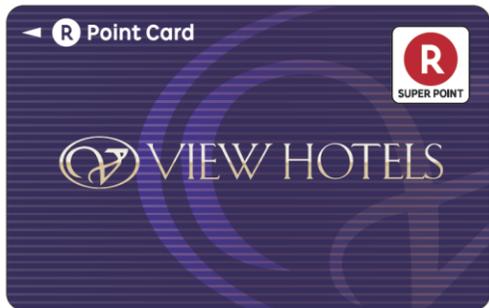
ビューホテルらしさ

変えないもの

- ホスピタリティ
- 地域密着
- ビュー(景色・ロケーション)
- 料理

ステークホルダーの目線

共通ポイントサービス「楽天ポイントカード」で楽天株式会社と提携



日本ビューホテルグループが運営するホテル、レジャー施設において、2017年4月より「楽天ポイントカード」が利用可能になりました。お客様は対象商品の購入時に「楽天ポイントカード」を提示すると楽天グループの各種サービスで利用できる「楽天スーパーポイント」が付与され、支払い時にも「楽天スーパーポイント」を利用することが出来ます。

◆「楽天ポイントカード」が利用できるホテルは、当社が業界初

当社独自のポイントキャンペーンの実施

- ・ポイント2倍キャンペーン
- ・30万ポイントプレゼントキャンペーン など



楽天主催によるメディア露出の強化

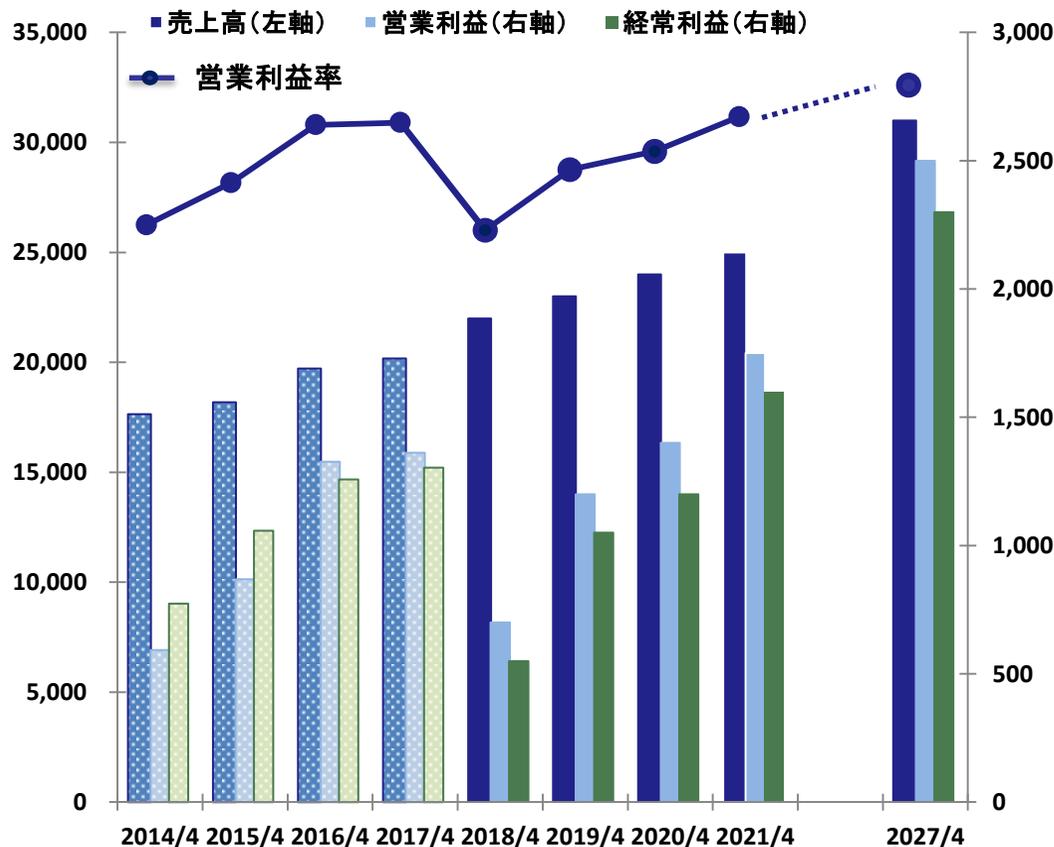
- ・全国版TVCM
- ・インフォーマーシャル
 - ・E-Mail
 - ・DM
- ・モバイル通知
- ・Webページ
- ・SNS



「楽天ポイントカード」主なパートナー企業(一例)



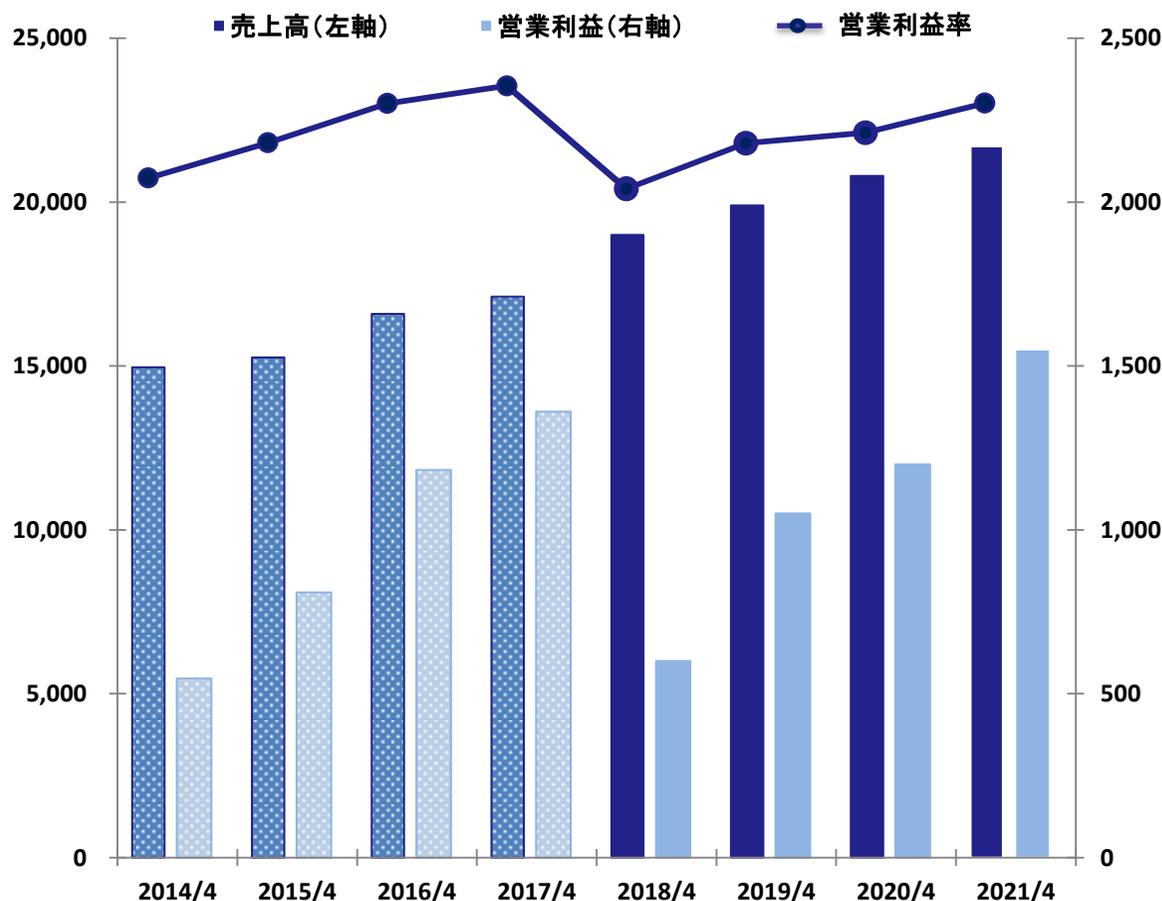
単位:百万円	実績				中期経営計画				長期目標
	2014/4期	2015/4期	2016/4期	2017/4期	2018/4期	2019/4期	2020/4期	2021/4期	2027/4期
売上高	17,645	18,188	19,721	20,179	22,000	23,000	24,000	25,000	31,000
営業利益	593	869	1,327	1,362	700	1,200	1,400	1,750	2,500
経常利益	774	1,058	1,258	1,304	550	1,050	1,200	1,600	2,300
営業利益率	3.4%	4.8%	6.7%	6.8%	3.2%	5.2%	5.8%	7.0%	8.1%



連結業績計画(2018年4月期～2021年4月期)の概要

- **増収基調**
新規ホテルを順次開業。宿泊マーケットの拡大もあり増収基調を継続。
- **2018年4月期**
2017年12月末での高崎VHの営業終了の他、浅草VHロビーフロア改装・受変電設備更新、札幌VH改装など大規模な設備投資を集中的に計画。長期持続的な成長の為の施策により、一期大幅な減益を計画。
- **2019年4月期以降**
新規開業ホテルが業績に寄与、再び増益基調へ。2020年4月期の営業利益を2017年4月期並みに回復、以降長期持続的な成長サイクルへ。

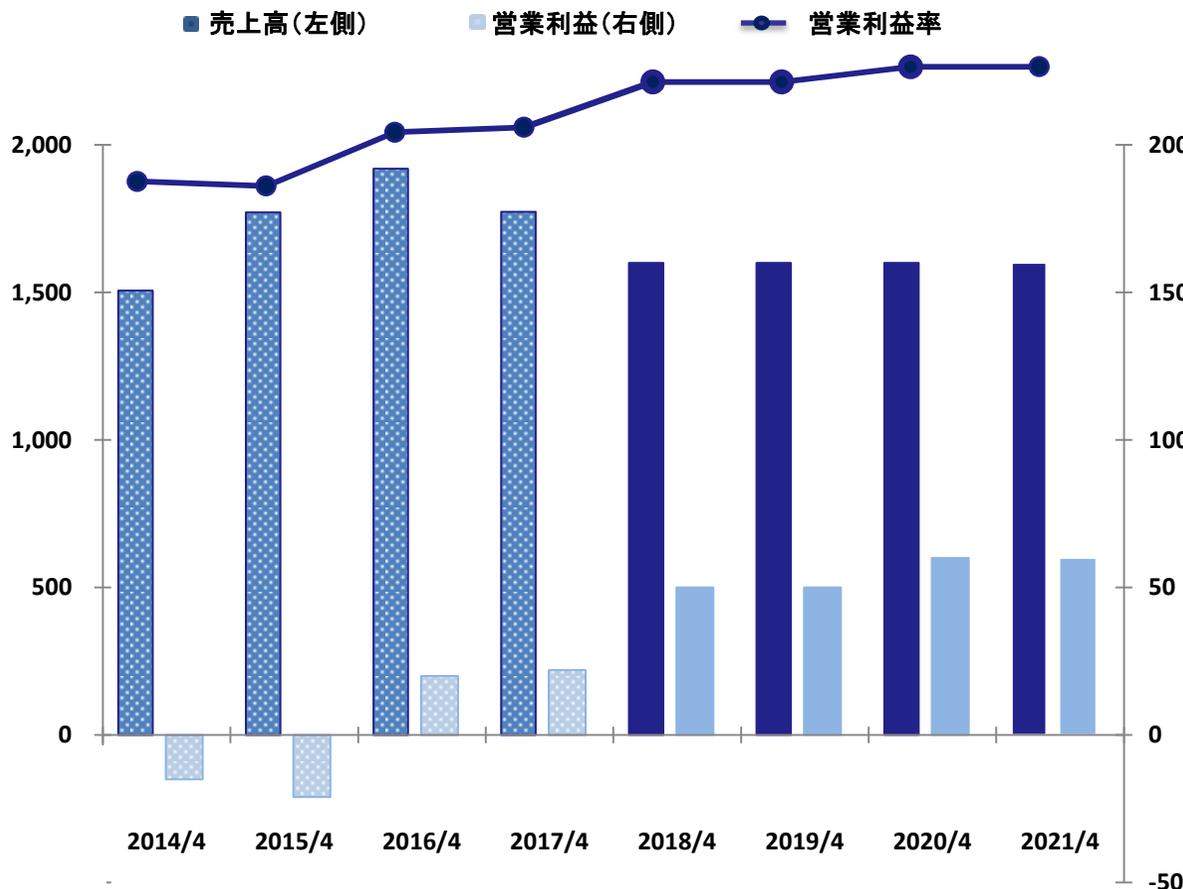
単位:百万円	実 績				中 期 経 営 計 画			
	2014/4期	2015/4期	2016/4期	2017/4期	2018/4期	2019/4期	2020/4期	2021/4期
売 上 高	14,963	15,263	16,592	17,116	19,000	19,900	20,800	21,700
営 業 利 益	547	809	1,183	1,361	600	1,050	1,200	1,550
営 業 利 益 率	3.7%	5.3%	7.1%	8.0%	3.2%	5.3%	5.8%	7.1%



業績計画の概要

- **新規ホテルの開業**
 2018年4月期 札幌VH大通公園
 2019年4月期 大阪VH本町
 以降も每期1~2ホテルの開業を想定
- **高崎ビューホテル**
 2017年12月末で営業を終了
- **2018年4月期**
 浅草、成田を中心に集中的な設備投資を計画(訪日外国人旅行者対応、安心・安全への取組み)

単位: 百万円	実 績				中 期 経 営 計 画			
	2014/4期	2015/4期	2016/4期	2017/4期	2018/4期	2019/4期	2020/4期	2021/4期
売 上 高	1,506	1,771	1,919	1,773	1,600	1,600	1,600	1,600
営 業 利 益	△15	△21	20	22	50	50	60	60
営 業 利 益 率	△1.0%	△1.2%	1.0%	1.2%	3.1%	3.1%	3.8%	3.8%

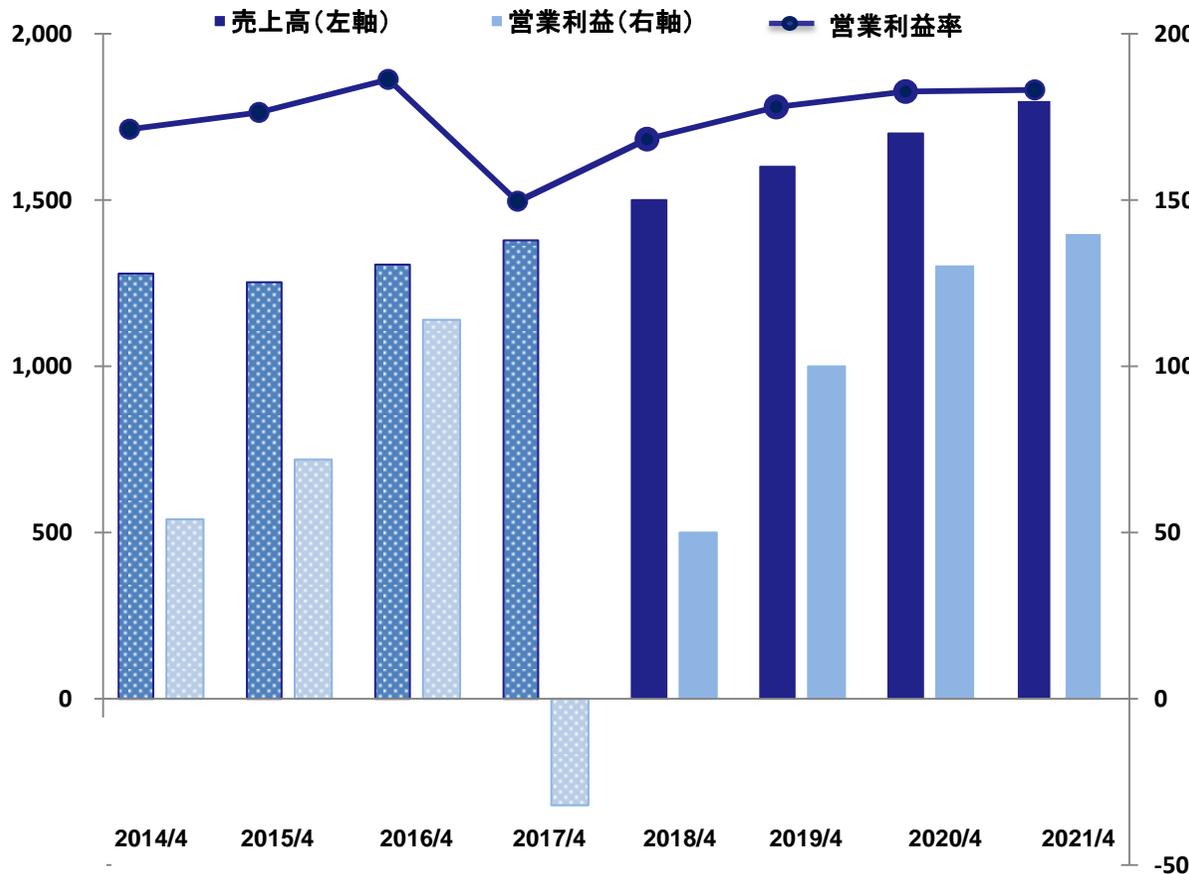


業績計画の概要

- 既存事業所の収益力アップの施策
 - ・安定的な収益力の構築
 - ・インターネットを中心とした商品プランの充実による販売強化 (シニア層、女性向けプランの充実)
 - ・リピーターの確保と拡大

- 新規案件獲得による成長
 - ・当社グループのノウハウを活かし、業績向上戦略の提案によるホテル、旅館の運営受託案件の獲得
 - ・小規模施設での安定的な運営実績を基に保養所運営受託契約の獲得

単位: 百万円	実績				中期経営計画			
	2014/4期	2015/4期	2016/4期	2017/4期	2018/4期	2019/4期	2020/4期	2021/4期
売上高	1,279	1,253	1,306	1,379	1,500	1,600	1,700	1,800
営業利益	54	72	114	△32	50	100	130	140
営業利益率	4.2%	5.8%	8.7%	△2.3%	3.3%	6.3%	7.6%	7.8%



業績計画の概要

- 「那須の恵み Mekke！」やイベントでの集客拡大により安定的な収益基盤へ
- ・ 「那須の恵み Mekke！ ブッフェ&マルシェ」(2016年7月開業)
- ・ 来園者以外も利用可能な施設でV字回復する那須観光客全般の取込み
- ・ 天候に左右されない営業基盤作り、オフシーズン対策による安定的な収益基盤の構築
- ・ イルミネーションや花火などのイベントの充実、認知度のアップ



1 事業の概要

2 ホテルマーケットの魅力・成長性

3 日本ビューホテルの強み・特徴

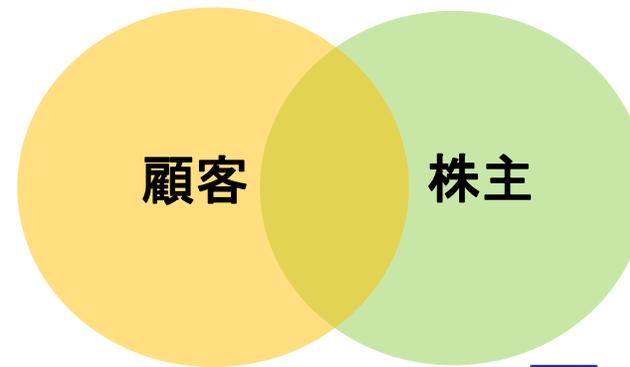
4 今後の経営ビジョン

5 **株主還元**

株価チャート / 業績の推移

- 売上高
- 営業利益
- 経常利益

— 終値



毎期の安定配当と持続的な企業価値の拡大によるトータルな株主還元

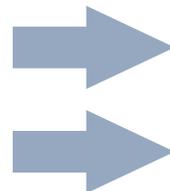
配当と成長戦略のバランス

株主還元

安定的な配当性向

成長投資

将来に亘る利益の拡大



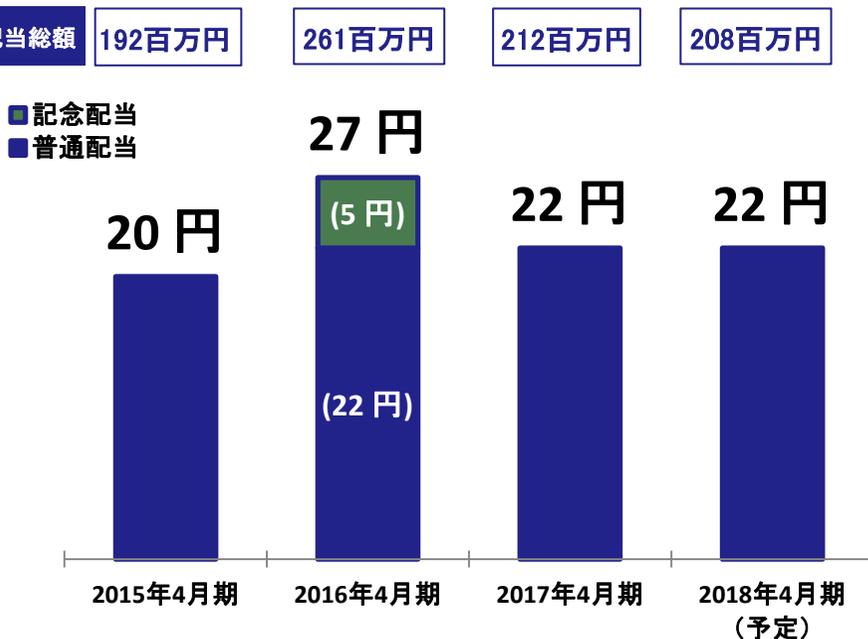
トータルな株主還元の実現

直接的な利益還元

中長期的な株価上昇

配当性向は、成長戦略とのバランスを取りながら安定的に30%以上としていく方針

配当の推移



自己株式の取得……株主への一層の利益還元

取得対象株式の種類	普通株式
株式の取得価額の総額	5億円(上限とする)
取得し得る株式の総数	400,000株(上限とする) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 4.13%)
取得期間	2017年1月13日～2017年7月31日
2017年6月末累計で277,300株を取得 (取得価格総額 379,399,900円)	

2015年4月期末の基準日より株主優待制度を導入

- 株主還元を目的として株主優待制度を導入
- ご利用に際しての制約を少なくし利便性を高めるため金額優待券を採用

対象となる株主様

毎年4月30日と10月31日現在の株主名簿に記載された当社1単元(100株)以上を保有されている株主様

優待対象施設と優待内容

保有株式数	優待内容
100株以上300株未満	500円優待券 4枚(2,000円相当)
300株以上500株未満	500円優待券 6枚(3,000円相当)
500株以上	500円優待券 10枚(5,000円相当)

有効期間及び贈呈時期

- 優待券の有効期間は6ヶ月間
- 毎年7月中旬と1月中旬に発送

優待対象施設

浅草ビューホテル、成田ビューホテル、
秋田ビューホテル、高崎ビューホテル、
伊良湖ビューホテル、両国ビューホテル、
札幌ビューホテル大通公園、ホテルビューパレス、
ぎょうけい館、ホテルプラザ菜の花、
グリーンパール那須、おくたま路

那須りんどう湖 LAKE VIEW

優待対象内容

宿泊、レストラン、宴会、婚礼

入園料、レストラン

この資料は投資家の参考に資するため、日本ビューホテル株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、提出日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

この資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、この資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。